

別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

令和5年5月22日

会議の名称	政策推進会議
開催日時	令和5年5月8日（月） 9時00分～10時10分
開催場所	庁議室
出席者職氏名	〔担当部課〕 今野教育政策部長、土崎生涯学習課長、吉成生涯学習課副課長、 木村生涯学習課主事 〔政策推進会議メンバー〕 村山総合行政部長、豊島総務部長、松永市長公室長、尾崎人事課 長、川幡財政課長、松田政策推進課長 〔関係部課〕 細田都市整備部長、滝田都市計画課長、加藤建築開発課長、青木 新複合施設建設推進室長、渋谷公共施設マネジメント推進室長、 浅見新複合施設建設推進室副室長 (計16人)
欠席者職氏名	(計 0人)
説明員職氏名	吉成生涯学習課副課長 (計 1人)
議 題	志木市立秋ヶ瀬スポーツセンター再整備について
結 果	アンケート内容や方針を修正の上、再度政策推進会議に諮ること とした。
事務局職員職氏名	小高政策推進課主査、矢野政策推進課主任
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

松田政策推進課長が開会を告げる。

2 審議事項（政策推進会議メンバーはメンバーと表記する。）

<志木市立秋ヶ瀬スポーツセンター再整備について>

- ・吉成生涯学習課副課長より概要を説明後、審議を行った。

○概要説明

志木市公共施設等マネジメント戦略に基づき、老朽化が進み、耐震性能も不足している秋ヶ瀬スポーツセンターの再整備を行い、市民のスポーツ振興や地域コミュニティの向上を目的とした施設として、「(仮称)秋ヶ瀬スポーツセンター」を新設する。再整備にあたっては、同様に老朽化、耐震性能の不足する武道館の機能を移転させるとともに、市民や利用団体等のニーズを的確に捉えながら、秋ヶ瀬運動施設全体を効果的に管理・運営する複合施設とする。

両施設ともに、新耐震基準以前に建設された施設であることから、早急に安全の確保が求められている。

また、運動場施設については、建物と一体的に検討し整備を行うことで、市民が利用しやすい魅力のある施設とする。

整備にあたっては、子どもから高齢者までの市民誰もがスポーツ・レクリエーションを楽しめる施設、地域コミュニティの構築を目指した施設とするとともに、会議室の整備、そして現在、秋ヶ瀬総合グラウンドの周辺には駐車場がないことから、駐車場の整備を検討するほか、市民ニーズを把握しながらテニスコート跡地等の活用についても検討していく。

メンバー：武道館除却は、設備の移動などがあるので新築工事が終わった後で良いのではないか。

担当部課：検討する。

メンバー：武道館は秋ヶ瀬スポーツセンターと複合化という考えでいいのか。秋ヶ瀬の運動場があるため、管理施設等の拠点としての機能は必要であるが、市民体育館と武道場の機能を備えた新複合施設が市の中心にできるなか、秋ヶ瀬スポーツセンターをスポーツ施設として整備する必要があるのか。

担当部課：秋ヶ瀬スポーツセンターについては、公共施設適正配置計画（第Ⅰ期個別施設計画）で耐震性能がないため再整備が必要とされている。また、武道

館の複合化については、例えば板張りの多目的室に畳を敷くことで、1つの部屋を多用途に使えるように費用は抑えつつ道場機能を追加することができる。さらに、複合化することで交付税措置のある起債も活用することができ、財政的にも有利である。

これまで市内には市民体育館、武道館と2つの武道場機能があったことから、新複合施設と秋ヶ瀬スポーツセンターの2か所に武道場機能を設置する方が、活用しやすさとしても良いのではないかと考える。

メンバー：地元のニーズがあるのか見えない。

担当部課：新複合施設のアンケートでは、体を動かすことができるスペースを増やしてほしいという要望はいただいている。

メンバー：スポーツ施設としての位置づけでいいのか。地域コミュニティの拠点として整備して、運動場の管理もできる、会議もできる、併せて武道もできるコミュニティ施設とするのが良いのではないか。

担当部課：シャワーやコインロッカー等を含む運動場施設の維持は必要である。一方、254バイパスより東側の公共施設が、宗岡公民館と秋ヶ瀬スポーツセンターのみになることから、会議や貸館ができるコミュニティ施設も必要。

メンバー：需要はあるのか。ロッカーやシャワーは、土手を越えて使用しにきているのか。

担当部課：運動場施設を使用する際に、秋ヶ瀬スポーツセンターに寄りロッカーを使用し、帰りにシャワーを浴びて帰るという方は多く、需要はある。今回、アンケートでも利用者の意向を伺う予定である。

メンバー：現在、2階の多目的室はどのように使われているのか。

担当部課：卓球連盟やダンスサークル、健康体操の団体が活用している。利用頻度も高い。現在の施設では宿泊施設があることにより、食堂や浴室、ボイラー室があるが利用頻度は低い。建て替えによって会議室や多目的室ができると利便性が高くなると考える。

メンバー：シャワー室は残すのか。

担当部課：需要が高いことから、シャワー室は残す予定。

メンバー：建て替え中の臨時窓口はどうするのか。

担当部課：臨時窓口については大きな課題であり、検討中である。できるだけ近いところで場所を確保できればと考えている。

メンバー：トラクター等の保管があるので、必ず倉庫は借る必要がある。

メンバー：仮設施設を設置する場合は建築確認が必要である。借るのか設置するのも検討が必要。

メンバー：再整備後、駐車場はどれくらいあるのか。

担当部課：1階は受付・シャワー程度とし、駐車場のスペース確保を考えている。具体的にはまだ固まっていない。

メンバー：現施設よりコンパクトな建物を考えているのか。

担当部課：そうである。

メンバー：今聞いたような機能を入れていくと、建物を小さくはできないのではないのか。同じような規模の施設となれば、駐車場の確保は難しい。

メンバー：公共施設マネジメントの視点で考えると、コンパクトな施設を目指してほしい。駐車場も必要となるのであれば、現有地内での整備。それが難しいのであれば、機能をそぎ落としていくしかない。

担当部課：総合運動場側ではあるが、令和元年東日本台風以降、使用されていない箇所があるので、駐車場活用を考えている。

また、その他の総合運動場整備の考えとして、ジョギング広場、第2, 3, 4広場の利用率がかなり低いことから、利用者の増加につながる場所として整備したいと考えている。

メンバー：運動場も再整備するのであれば、建物と一緒に設計を予定しているのか。そうであれば、基本的方向性に図面等も盛り込んで議論する必要がある。

メンバー：新複合施設の運用開始後でないと武道館は除却できない。武道館の除却は令和9年度以降が良い。

メンバー：運動場再整備も含めたビジョンもあった上で、耐震性の問題があるので秋ヶ瀬スポーツセンターを先行してやるという流れであれば分かる。詳細とまではいかななくても全体像が見えるようにした方が良い。

メンバー：今回の議論で現れた課題を踏まえ、基本的な構成や基本方針を見直して再度会議に諮ること。

○結論

アンケート内容や方針を修正の上、再度政策推進会議に諮ることとした。

3 閉会

松田政策推進課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。